

2024 年 11 月 11 日

あきる野市地域公共交通協議会
事務局 殿

あきる野市地域公共交通協議会
市民代表

第 1 回運賃協議会分科会に対し、事前意見

13日の分科会は、公民館管轄、市民解説員の運営委員会があり、どうしても必要な会議のため出席できません。

今回の分科会は、「デマンド型交通『チョイソコ』あきる野」の初めての運賃改定についての協議とともに、あきる野市の財政またその中での公共交通のあり方を考える大切な分科会だと思いますので、意見を表明させていただきます。

1. 「チョイソコ」の利用者のアンケートでは、「外出が楽しみになった」「通院/帰宅が楽になった」などの声が寄せられている、また運賃改定に対する意見では、高齢で、年金生活者にとっての、今回の300円への改訂に対し、切実な声が寄せられている。

2. 一方「チョイソコ」の運行経費は、現在1人当たり約4千数百円かかっている。「るのバス」の運行経費約700円と比べてみても、異常です。

現行運賃は、バス、タクシーの料金と比較しても差があるかなと思います。

3. 公共交通の充実を求める声は、多岐にわたり、公共交通空白地域でなくても最寄りのバス停に行くことが困難な方も多い。社会福祉協議会の患者移送サービスの充実も課題となるでしょう。

今、あきる野市の公共交通の充実を図るために、るのバスの2台運用、「チョイソコ」の運用などやっとならざるを得ない状況に達しました。これからはもっときめ細やかに、早く対策を図る必要があります。「デマンド型交通チョイソコ」についても、今回の運用時間の拡大とともに運行地域の拡大、土日の運行などが求められます。これらは全て「お金」がかかることです。

4. あきる野市は、過去の企業誘致のための投資の失敗から、財政運営は厳しい状況で、従って今回の「チョイソコ」の運賃改定は、「チョイソコ」の持続的な運用とこれからのあきる野市の公共交通のきめ細やかな対応を図るうえからも避けて通れないことと思います。

5. 今回「あきる野市の地域公共交通計画 素案」が出されました。5年を見通した計画ですが、市民に具体的に示すことが必要だと思います。

私は、現在下記のように思います。

1. 効率の良い「るのバス」の3台運用で、基幹交通としての役割を果たす。

料金を距離制にするとともに料金の改訂も課題になるかなと思います。西東京バス料金との比較。草花コースを2つに分け、1コースは、逆コースとする。パークハイツの周回。土日の運用を実現

2. デマンド型交通「チョイソコ」も土日の運用。運行地域の拡大
特にグリーンタウンや小松平の運用地域の拡大。
3. 養沢地区の西東京バスの始発時間のご検討依頼、行政の補助。
4. 公共交通利用促進、特にバスに対し、市民参加の創意工夫を図る

以上。